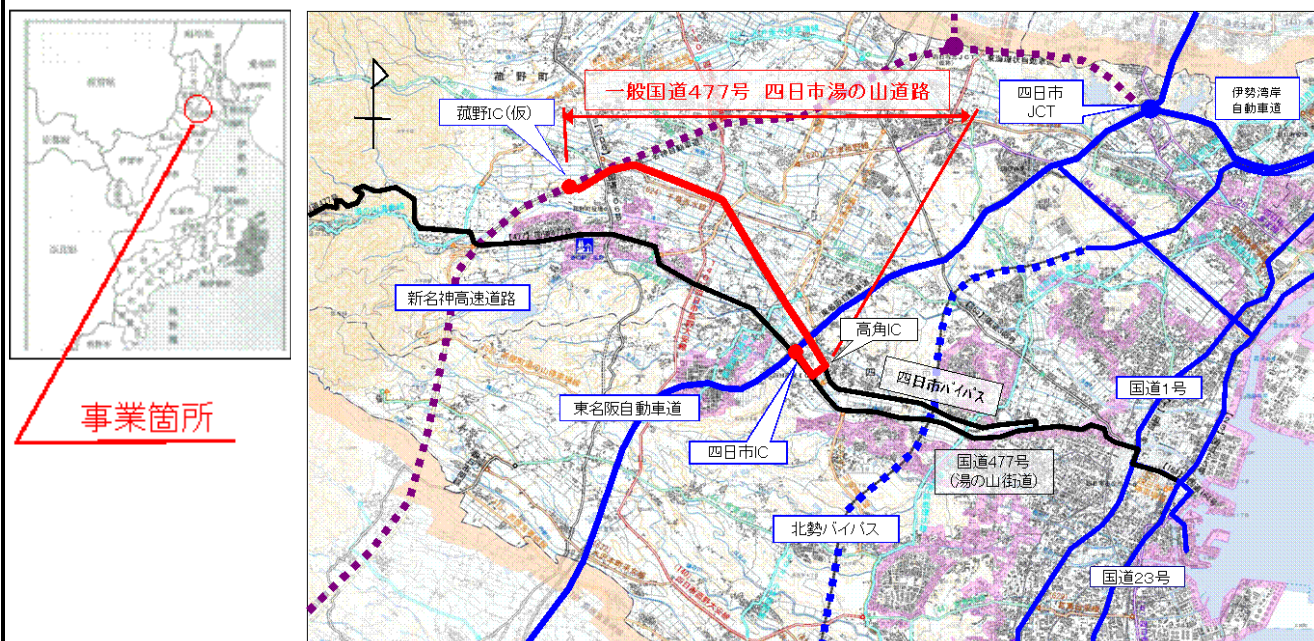


## 再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名： 三浦 真紀

<b>事業名</b> 地域高規格道路 四日市インターアクセス道路 一般国道477号 四日市湯の山道路	<b>事業</b> 一般国道 <b>区分</b>	<b>事業</b> 三重県 <b>主体</b>
<b>起終点</b> 自：三重県四日市市高角町 至：三重県三重郡菟野町音羽		<b>延長</b> 9.0km
<b>事業概要</b> 一般国道477号は、四日市市の国道23号を起点とし、菟野町、大津市、京都市を経て大阪府池田市に至る延長約202kmの幹線道路である。 本事業の一般国道477号四日市湯の山道路は、三重県四日市市高角町～菟野町音羽に至る延長9.0kmのバイパスであり、四日市市街地や東名阪自動車道と新名神高速道路菟野ICとの連絡強化、交通渋滞の緩和を目的として事業を推進している。		
H9年度事業化	H6年度都市計画決定	H9年度用地着手
H9年度工事着手		
全体事業費	425億円	事業進捗率
計画交通量	13,600台/日	65%
供用済延長	0km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 143/482億円 (事業費：140/479億円) 維持管理費：3/3億円
総便益	(残事業)/(事業全体) 652/652億円	基準年！平成24年
(走行時間短縮便益：500/500億円)	(走行経費減少便益：105/105億円)	(交通事故減少便益：47/47億円)
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.8 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.3～6.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.3～1.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=4.6～5.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3～1.4 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.8～5.2 (事業期間±20%)		
<b>事業の効果等</b> ・市街地と新名神高速道路菟野IC間のアクセス性の向上。 ・現道の渋滞の緩和。 ・東名阪自動車道や新名神高速道路などと一体的な緊急輸送網を構成し、広域的な災害復旧活動に貢献する。 ・観光地（湯の山温泉）へのアクセス向上による観光支援が期待されている。		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 新名神高速道路等の整備とともに、渋滞緩和、地域ネットワークの構築、物流の効率化などの面から、四日市湯の山道路の早期供用開始が望まれている。		
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を了承する。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 新名神高速道路について、平成30年度には県内全区間が開通予定であり、当事業の必要性に変化はない。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・事業進捗率は65%、用地取得率は76%		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・高角ICから四日市菟野大安線間の平成25年度の供用を目指し、先行整備を進めている。 ・残る区間については、平成30年度の新名神との同時供用に向け事業を進める。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 橋梁に耐候性鋼材を使用し、維持管理費の縮減を図るなどコスト縮減に努めている。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。		

## 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。